



# 新年のご挨拶

大衡村長 萩原達雄



明けましておめでとうございます。

令和初めての年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい一年になることをお祈りし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年の水稲作況指数は、本村の位置する宮城県中部で「101」の「平年並み」となりました。しかし、農業を取り巻く情勢は恒常的な農産物価格の低迷など、依然として厳しい状況の中にあり、生産者としての自助努力がより一層求められる時代になってきております。今後も、農家の皆様が安定して農業経営ができるよう、地域農業の更なる活性化を図りながら、引き続きできる限りの支援をまいります。

後も早期完成に向けて、沿線自治体及び村内立地企業と連携しながら強く要望してまいります。

村内の水害対策は、平成27年関東東北豪雨により被害を受けた衡下地区善川について災害復旧工事が完成し、国により進められております善川遊水地につきましても用地買収に着手されたほか、一部遊水地の築堤工事にも着手されました。昨年の台風19号にも対応した適切な水害対策となるよう国に強く働きかけをしております。また、台風19号により村内でも多くの箇所で公共土木施設等の被害が発生いたしました。住民生活に支障とならないよう早期復旧に努めてまいります。

本村では、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、18歳までの医療費助成や妊婦に対してタクシーへの乗車や紙オムツ、粉ミルクの購入に利用できる「万葉のびの子育て支援券」の交付、出産祝金と入学祝金の支給に加え、小中学校給食費の無償化を行い子育て支援の拡充を図っております。また、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、令和5年度までに老朽化した学校給食センターの建て替えを計画しております。

高齢者や障害のある方が元気で生きがいのある生活を送ることができるようタクシー乗

自治体の自主財源の確保と雇用機会の増加に繋がる企業誘致では、昨年は「CKD株式会社」が操業を開始し、「グローテック株式会社」の進出も決定するなど企業立地が着実に進んでおり、今後も引き続き企業誘致活動に積極的に取り組んでまいります。

「ときわ台南」住宅団地につきましては、全108区画のうち既に9割近くの世帯がお住まいになられており、定住化が進められております。これにより、昨年5月には27年ぶりに人口6千人を回復しました。今後は海老沢地区や五反田・亀岡地区の土地利用について促進してまいります。

国道4号の拡幅事業につきましては、用地補償調査と並行して用地交渉が進められておりますが、昨年は文化財調査が行われたほか、大崎市側から一部工事が着工されました。今車料金の一部を助成する事業は、1回あたりの使用枚数制限をなくし、より使いやすくなるようにしました。また、一昨年3月に、村内で初めての障害者福祉サービス事業所「わ・は・わ大衡」が開所し、誰もが地域で自分らしく安心して生活できるまち大衡の実現に向け前進しております。今後もこれまで以上に良い福祉政策を実行してまいります。

本村の財政は、皆様方のご協力により、県内においても良好な状況となっております。近年では自動車関連産業のみならず、高度電子機械産業などの企業立地が進み、自主財源比率が年々高まっており、今後も中長期的な視点に立った財政運営を行い、生活環境の整備や福祉の向上、基幹産業である農業振興のために、更なる取り組みを行ってまいります。

結びに、昨人大衡村は村制施行130年目を迎えました。大衡村の限らない発展と地方創生の実現を目指し、諸施策を全力投球で推進し、村民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせる、「みんなで創る新たな万葉の里おおひら」が実感できるような村政に邁進してまいりますので、村政運営に尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

